

学際的ワークショップ
『精神分析の知のリンクにむけて』
—第五回「ウィニコットの思想」—

ベルギーの哲学者マルク・リシールは、「ウィニコットは哲学的厳密さとはほど遠い書き手であるが、彼の著作には、こどもが人間化する過程に関する驚くべき「哲学」がある」と明言し、ウィニコットが見いだした、空想が持つ創造性を、自らの哲学の源泉としました。リシール門下として自らの哲学的思惟を開始した村上靖彦氏も、ウィニコットを「20世紀最大の思想家」と高く評価しています。村上氏は、自閉症研究から看護師や助産婦へのインタビューを通じたフィールドワークなど、多様な領域を横断しつつ、独自の現象学を展開していますが、その思索の傍らには、常にウィニコットがいます。また昨年、人文書として人気を博した『居るのはつらいよ』の著者、東畑開人氏の仕事の一つの核になっているのも、ウィニコットの「思想」だと言っていいでしょう。このようにウィニコットの「思想」が持つインパクトは、精神分析的臨床のフィールドのみならず、ケアの領域さらには人文知にまでも及んでいます。

第五回のワークショップでは、村上氏、東畑氏をメインゲストとしてお招きします。指定討論は、当ワークショップのコーディネータの一人である藤山直樹、ならびに気鋭の精神分析的心理療法家である上田勝久氏、山崎孝明氏が行います。司会は当ワークショップの企画者である十川幸司が担当します。

日時：10月4日（日）13：00～17：00

場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

参加対象：精神分析に関心をもつ方はどなたでも参加できます。

発表者：村上靖彦（大阪大学）

：東畑開人（十文字学園女子大学、白金高輪カウンセリングルーム）

討論者：藤山直樹（個人開業）

：上田勝久（兵庫教育大学）

：山崎孝明（こども・思春期メンタルクリニック）

司 会：十川幸司（個人開業）

参加費：3000円（学生は1000円）

定 員：100名

申し込み方法：2020年9月25日（金）までに小寺記念精神分析研究財団事務局に e-mail でお申し込み下さい (kodera.kt@nifty.com)。表題は「学際的ワークショップ申し込み」とし、メール本文に、氏名、住所、ご所属とご身分（学生、教員、会社員など）お書き下さい。返信メールにて、お振込みのご案内をさせていただきます。

主催 小寺記念精神分析研究財団